

科目記号／番号	授業科目名	単位	授業時間(分)	開設semester	履修条件	他学科受講	備考	到達目標													
								知識・理解				汎用的技能				態度・志向性					
								多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション・スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	
TED 243	保育内容指導演法(人間関係)	2	100	春秋					●												
TED 237	保育内容指導演法(環境)	2	100	春秋			3年次より履修		●												
TED 241	保育内容指導演法(言葉)	2	100	春秋			3年次より履修		●												
TED 245	保育内容指導演法(表現)	2	100	春秋					●												
TED 210	コンピュータと学習支援	2	100	秋						●											
MUS 210	音楽(幼)	2	100	春秋					●												
HHS 223	体育(幼)	2	100	春秋									●								
SOC 213	子ども家庭福祉	2	100	春																●	
HHS 217	子どもの保健Ⅱ	2	100	春					●												
HHS 210	子どもの保健演習	1	100	秋					●			●									
CED 210	乳児保育Ⅰ	1	100	秋					●												●
ED 311	教育学演習Ⅰ	2	100	春	●						●	●									
ED 310	教育学演習Ⅱ	2	100	秋	●						●	●									
CED 311	社会的養護	2	100	春																	●
HHS 315	子どもの食と栄養	2	100	春秋					●												
CED 315	乳児保育Ⅱ	1	100	春					●												●
CED 312	社会的養護内容	1	100	秋																	●
CED 310	家族支援論	2	100	秋																	●
CED 313	障がい児保育Ⅰ	1	100	春					●												●
CED 314	障がい児保育Ⅱ	1	100	秋					●												●
TED 313	教育実習(幼稚園1種)	5	100	春秋			4年次より履修		●			●		●							
CED 319	保育実習指導Ⅰ	2	100	春秋									●								
CED 317	保育実習Ⅰ	4	100	春秋					●			●									
ED 415	卒業課題研究Ⅰ	2	100	春	●						●	●									
ED 412	卒業課題研究Ⅱ	2	100	秋	●						●	●									
TED 414	教職実践演習(幼)	2	100	秋					●			●		●							
SOC 413	相談援助	1	100	春秋								●									
CED 427	保育相談支援	1	100	春秋								●									
ED 411	子どもの遊びと育ち	2	100	春秋					●												
CED 411	児童文化	2	100	春秋					●												●
SOC 411	子どもと家族の福祉	2	100	春秋																	●
CED 421	保育実践論 A	2	100	春秋								●									●
CED 423	保育実践論 B	2	100	春秋								●									●
CED 425	保育実践論 C	2	100	春秋								●									●
CED 417	保育実習指導Ⅱ	1	100	春秋									●								
CED 419	保育実習指導Ⅲ	1	100	春秋									●								
CED 413	保育実習Ⅱ	2	100	春秋					●			●									
CED 415	保育実習Ⅲ	2	100	春秋					●			●									

【履修にあたって】

- (1) 必修科目、必修選択科目の履修にあたっては、卒業要件(p.132)を参照してください。
- (2) 必修選択は、8科目中3科目6単位分以上を履修してください。
- (3) 「英語リテラシー」の単位取得には、実用英語技能検定(英検)準2級もしくは相当試験に合格する必要があります。したがって、「英語リテラシー」の履修前に、当該試験に合格していることが推奨されます。
- (4) A、B、Cがついている同一名称の授業科目は、履修の順番を問いません。
- (5) 「コンピュータと学習支援」など、設備の関係上受講人数に定員がかかる科目があります。登録の際には必ず教務担当教員の指示にしたがって手続きをしてください。
- (6) 教育実習は、事前指導、現場実習、事後指導の3区分により構成されています(現場実習を行うにあたっては必ず事前指導を修得済みであること)。
- (7) I・IIなどのローマ数字がついている同一名称科目は原則としてその順番で履修してください。